

2017年3月30日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

“子ども”と“地域”をテーマにした社会貢献活動を実施

『Magic of the Dream』の名称のもと、全国各地でイベント協賛やボランティア活動を展開

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋 東京都千代田区)は、2017年4月から、“子ども”と“地域”をテーマにした社会貢献活動を全国各地で展開していきます。

■未来を担う子どもたちの夢と希望を応援する「Magic of the Dream」

当社はこれまで「未来を担う子どもたちを応援する」というテーマのもと、さまざまな社会貢献プログラムを展開してきました。今後、さらに発展的に子どもたちを応援する活動を実施していくため、2017年から新たに「Magic of the Dream」の名称とロゴを設定し、子どもたちの『夢を叶える力』を育む“感動”や“驚き”を得られる体験をプレゼントし、『希望にあふれる未来』へと繋ぐ“架け橋”となるようなプログラムを全国各地で実施します。各活動には、当社社員がボランティアスタッフとして運営に積極的に関わり、子どもたちにエールをおくります。

なお2017年、「Magic of the Dream」のもとで行う活動は以下の活動を予定しています。

■Magic of the Dream の名称とロゴの説明



未来を担う子どもたちの夢と希望を応援する

「Magic of the Dream」

子どもたちの笑顔や元気な声をイメージした字形と、虹のようなカラフルな配色が特徴的なこのロゴは、希望にあふれる未来や夢に向かっのびのびと活躍する子どもたちを、ジブラルタ生命の多様な社会貢献活動を通じて応援するイメージを表現しています。上部に大きく広がる青い空が架け橋のようにロゴ全体を包み込むデザインには、ジブラルタ生命の活動が『夢を叶える力』を育み、『希望にあふれる未来』へと繋ぐ架け橋となって欲しいという想いを込めています。

●ドリーム・スクール・キャラバン 「バスケットボール教室」

Bリーグに所属する各地域のプロチームと協力し、プロ選手とコーチが小学校を訪問し子どもたちに直接指導します。



●ドリーム・スクール・キャラバン 「走力 up! 教室」

オリンピック選手や子どもたちを10,000人以上指導してきた実績を持つプロスプリントコーチ「荒川優」氏が“速く走るためのコツ”を伝授。子どもたちだけでなく先生方にも効果を実感していただきやすい特別授業です。



●ドリーム・スクール・キャラバン 「バレーボール教室」

バレーボール元日本代表の選手達が小学校を訪問し直接指導します。バレーボールを通じてスポーツの面白さや、体を動かす楽しさを子どもたちに伝えます。



●ドリームサッカークリニック

日本サッカー名蹴会、サッカー元日本代表選手とともに、サッカーを通して“未来を担う子どもたち”を応援する活動です。「小学校訪問授業」と「芝のグラウンドでの1日クリニック」の2つのスタイルで行う活動には、2012年の開始から5年間で、約10,000名の子どもたちが参加しました。



●ドリームナイト・アット・ザ・ズー

障がいのある子どもたちとご家族を動物園・水族館に招待し、気兼ねなく楽しいひとときを過ごしてもらおう国際的なイベント。2012年より同イベントならびに主旨に賛同し、ハーティーナイト、テンダーナイトとして実施している動物園や水族館をサポートしています



* 各プログラムの詳細は日程・場所等が決定し次第、発表いたします。

(ご参考) ジブラルタ生命の社会貢献活動に対する考え

当社の親会社である米国プルデンシャル・ファイナンシャルは、本業を通じて「経済的な保障と心の平和」を社会に提供すると同時に、「会社が地域とともに成長し、社員一人ひとりが地域コミュニティに貢献し支援すること」を大切にしています。当社は、このプルデンシャル・ファイナンシャルが大切にする“想い”と、当社企業理念に沿った社会貢献活動に積極的に取り組んでいくことで、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えています。全国各地で、当社社員が主体的に関わり、ボランティア参加する活動を行っていますが、なかでも「子ども」と「地域」をテーマにした活動に取り組んでいます。

「地域」をテーマにした活動

「地域コミュニティへの貢献」をテーマに、日ごろお世話になっている地域に恩返ししようと、各地方で開催されるイベントへの協賛や、社員の主体的な地域ボランティア活動を推進しています。

全国で行われる各活動は、会社主導ではなく、各地域の社員が皆でアイデアを出し、運営やボランティアに関わりながらサポートすることで、地域への想いをカタチにする取り組みを行っています。